

PRESS RELEASE



名古屋証券取引所

NAGOYA
STOCK EXCHANGE

名古屋市中区栄 3-8-20 〒460-0008
Tel 052-262-3171 www.nse.or.jp

平成 25 年 9 月 25 日

各 位

9 月社長記者会見

1. 名証の利用促進に向けた新たな施策について
＜資料 1 参照＞
2. 呼値の単位の段階的な見直しについて
＜資料 2 参照＞

以 上

名証の利用促進に向けた新たな施策について

名古屋証券取引所は、中部地域の経済インフラの一つとして、上場企業、投資家等の利用者の皆様方に対して市場選択の機会を提供するとともに、地域経済の一層の発展に寄与することを目指して、以下の新たな施策を実施します。

1. 新規上場の促進

わが国における株式上場のファーストステップ市場である中堅・中小企業向けの市場第二部及び成長企業向けのセントレックスについて、市場の信頼性・公正性を維持しながら上場制度を見直すとともに、上場推進体制を強化し、新規上場の促進に一層積極的に取り組みます。

(1) 上場制度の見直し

上場機会の拡大を図る方向で、市場第二部及びセントレックスの株式の流動性に係る上場基準等について、見直しを行うこととします。

(2) 上場推進体制の強化

上場推進担当者を増員し、未上場企業に対する支援を強化します。

2. 地域に密着したサービス活動等の推進

中部地域における中小・ベンチャー企業の成長に向けた支援を強化するとともに、上場企業とのコミュニケーションを一層密にし、ニーズに対応したサービスの提供に努めます。

(1) 地域金融機関等との連携

中部地域に根ざした取引所として、新たに、地域金融機関等と連携し、中小・ベンチャー企業等将来の上場可能性のある企業に対し、資本市場へのアクセス促進に繋がるサービスを提供します。

(2) 上場企業とのコミュニケーション強化

上場企業各社に対する個別訪問を実施するなど、名証の特色である Face to Face のコミュニケーションを強化し、一層のサービス向上に努めます。

3. 名証からの情報発信の強化

名証の情報発信機能の強化を図り、名証市場の知名度・名証上場銘柄への注目度の向上に努めます。

(1) 情報発信の強化

上場企業、一般投資家等向けに有用となる市場動向等の調査・分析を行うとともに、その結果を対外的にも発信します。

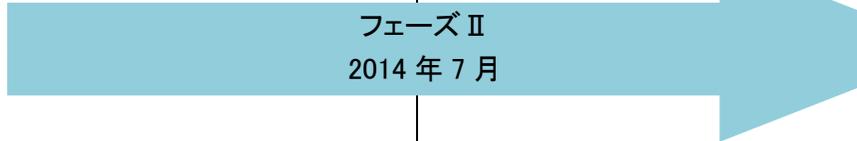
(2) 広報・証券投資普及活動の推進

名証市場の知名度向上にも繋がる一般広報活動を実施していくほか、証券知識普及活動を一層推進し地域社会に貢献します。

呼値の単位の段階的な見直しについて

【実施スケジュール】

	概 要	備 考
フェーズⅠ (2014.1)	<ul style="list-style-type: none"> ● 株価 3,000 円超の価格帯について、呼値の単位を見直し ● 新呼値の単位テーブルはTOPIX100 構成銘柄に該当する名証重複上場銘柄(41 銘柄)に限定して適用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小数点呼値の導入なし ● 銘柄毎に呼値の単位テーブルを使い分ける対応あり
フェーズⅡ (2014.7)	<ul style="list-style-type: none"> ● 株価 5,000 円以下の価格帯について、さらに呼値の単位を見直し(適用銘柄には変更なし) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 小数点呼値の導入あり ● 銘柄毎の呼値の単位テーブルの使い分けが継続
フェーズⅢ (2015 央)	<ul style="list-style-type: none"> ● フェーズⅠ及びⅡの実施結果を踏まえて、フェーズⅢにおける呼値の単位の見直しの実施内容を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 細かいテーブルを適用する銘柄群の見直しや単位テーブル自体の見直しを実施

	2013 年	2014 年				2015 年			
	10 月	1 月	4 月	7 月	10 月	1 月	4 月	7 月	
イベント									

呼値の単位の段階的な見直しについて

平成 25 年 9 月 25 日

株式会社 名古屋証券取引所

I 趣旨

我が国証券市場のさらなる利便性向上の観点から、株券に係る売買立会による売買における、呼値の単位の縮小に対するニーズが一段と高まっています。

立会市場において、よりきめ細やかな呼値の単位で売買を行うことで、流動性が高い銘柄を中心として、スプレッドコストの低下による価格改善効果の恩恵が幅広い投資者に提供されることが期待される一方で、全ての銘柄において一律に呼値の単位を縮小することについては、流動性が充分ではない銘柄において価格発見機能が低下するとの指摘や、急激な見直しが市場関係者のトレード手法やシステム等に大きな影響を与えるとの指摘もなされています。また、(株)東京証券取引所（以下「東証」という。）においても、呼値の単位の段階的な適正化を計画されています。

当取引所はこのような背景を踏まえ、銘柄の流動性や株価水準に応じて段階的に呼値の単位の見直しを行うこととします。

具体的には、東証同様、フェーズⅠからⅢの3段階に分けて呼値の単位の見直しを行うこととし、まずは、東証での流動性が高い銘柄群を対象として、フェーズⅠにおいて、1株の値段が3,000円を超える場合における呼値の単位の見直しを行い、フェーズⅡにおいて、新たに1円未満の呼値の単位を設け、1株の値段が5,000円以下の場合に適用することとします。

その後、フェーズⅠ及びⅡにおける売買状況への影響等を踏まえて、東証同様、呼値の単位の見直しが必要な銘柄の範囲を見極め、フェーズⅢにおいて、包括的な呼値の単位の見直しを行うこととします。

II 概要

項目	内容	備考
1. フェーズⅠ	<ul style="list-style-type: none"> フェーズⅠにおいては、東証における流動性が高い銘柄群に限定して、新たな呼値の単位を適用することとします。 	
(1) 対象銘柄	<ul style="list-style-type: none"> 東証のTOPIX100 構成銘柄における名証上場銘柄（以下「TOPIX100 構成重複銘柄」という。）を対象として、新たな呼値の単位を適用することとします。 その他の銘柄については、引き続き、現行の呼値の単位を適用します。 	<ul style="list-style-type: none"> TOPIX100 構成重複銘柄とその他の銘柄において、異なる呼値の単位を適用することになります。 東証のTOPIX100 構成銘柄の入れ替えのタ

項 目	内 容	備 考
<p>(2) 呼値の単位の見直し</p> <p>(3) 実施時期 (予定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象銘柄の呼値の単位は、現行の呼値の単位をもとに、1株の値段が3,000円を超える場合における呼値の単位の見直しを行ったものになります。 ・ 3,000円以下の株価に係る呼値の単位については、現行の呼値の単位と同様とします。 ・ 平成26年1月を目途に実施します。 	<p>イメージで、対象銘柄も見直します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象銘柄の見直しの結果、呼値の制限値幅の基準値段に呼値の単位に満たない端数が生じた場合、四捨五入等するものとします。 ・ 呼値の単位の詳細については、別紙をご参照ください。
<p>2. フェーズⅡ</p> <p>(1) 対象銘柄</p> <p>(2) 呼値の単位の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ フェーズⅡにおいては、フェーズⅠで新たに設けた呼値の単位の一部を見直すこととします。 ・ フェーズⅠと同様、TOPIX100構成重複銘柄を対象とします。 ・ その他の銘柄については、引き続き、現行の呼値の単位を適用します。 ・ 対象銘柄について、1株の値段が5,000円以下の場合における呼値の単位の見直しを行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOPIX100構成重複銘柄とその他の銘柄において、異なる呼値の単位を適用することになります。 ・ 対象銘柄の見直し等については、フェーズⅠと同様です。 ・ 呼値の単位の詳細については、別紙をご参照ください。 ・ 1株の値段が3,000円超5,000円以下の場合における呼値の単位については、フェーズⅠにおける見直しから、再度、見直しを行います。

項 目	内 容	備 考
(3) 実施時期 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> 当該見直しに伴い、新たに1円未満の呼値の単位が発生することになります。 平成26年7月を目途に実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> 最低取引単位（呼値の単位×売買単位）において1円未満の端数が生じる可能性がある銘柄については、対象としないこととします。 株価の下限は1円とし、1円未満の指値注文は受け付けないものとします。
3. フェーズⅢ (1) 実施時期 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> フェーズⅠ及びⅡにおける売買状況等への影響等を踏まえ、包括的な呼値の単位の見直しを行うこととします。 平成27年央を目途に実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> フェーズⅢの概要については、実施前にあらためて制度要綱を公表いたします。

以 上

○フェーズ I 及び II における呼値の単位

呼 値		呼値の単位		
		その他の銘柄	TOPIX100 構成重複銘柄	
			フェーズ I	フェーズ II
～	1,000 円 以下	1 円	1 円	<u>0.1</u> 円
1,000 円 超	～ 3,000 円 "	1 円	1 円	<u>0.5</u> 円
3,000 円 "	～ 5,000 円 "	5 円	<u>1</u> 円	<u>0.5</u> 円
5,000 円 "	～ 10,000 円 "	10 円	<u>1</u> 円	1 円
10,000 円 "	～ 30,000 円 "	10 円	<u>5</u> 円	5 円
30,000 円 "	～ 50,000 円 "	50 円	<u>5</u> 円	5 円
50,000 円 "	～ 100,000 円 "	100 円	<u>10</u> 円	10 円
100,000 円 "	～ 300,000 円 "	100 円	<u>50</u> 円	50 円
300,000 円 "	～ 500,000 円 "	500 円	<u>50</u> 円	50 円
500,000 円 "	～ 1,000,000 円 "	1,000 円	<u>100</u> 円	100 円
1,000,000 円 "	～ 3,000,000 円 "	1,000 円	<u>500</u> 円	500 円
3,000,000 円 "	～ 5,000,000 円 "	5,000 円	<u>500</u> 円	500 円
5,000,000 円 "	～ 10,000,000 円 "	10,000 円	<u>1,000</u> 円	1,000 円
10,000,000 円 "	～ 30,000,000 円 "	10,000 円	<u>5,000</u> 円	5,000 円
30,000,000 円 "	～ 50,000,000 円 "	50,000 円	<u>5,000</u> 円	5,000 円
50,000,000 円 "	～	100,000 円	<u>10,000</u> 円	10,000 円